

# 相談支援班からのおたよりです

令和4年9月8日発行

支援連携グループ相談支援班



2学期がスタートしました。長い夏休みを有意義に過ごすことができたでしょうか？さて、9月には昔から大切にされてきた行事がたくさんあります。明日、9月9日は「重陽（ちょうよう）の節句」です。この日は菊の節句とも呼ばれ、薬草としても使われていた菊の花を用いて健康や不老長寿を願いました。また、第3月曜日は敬老の日。長年にわたり社会貢献してきたお年寄りを敬い、長寿を願う日です。各地で敬老の日にちなんだイベントが行われると思いますが、大切なのはいたわりや感謝の気持ちを持つことです。また、敬老の日をきっかけに、高齢者を取り巻く問題を考えてみてはかかでしょうか。



## 18歳成人……

高等部を卒業し社会人になるタイミングを「移行」と言いますが、その「移行」に関わる諸問題を検討する会議が鎌倉三浦地域児童相談所で行われました。そこでは、グループホームに入るときのタイミングについて、空きがあったときにすぐに対応しないと満室になってしまうことや、18歳から20歳までの、まだ障害基礎年金が適応されない2年間のこと、18歳成人制度が始まって、思わぬデメリットが生じたことなどが話題になりました。特に気になった「18歳成人」について、調べてみました。

18歳になると、自らの意思で様々な契約ができるようになります。一方で、未成年者と違って、契約を簡単に取り消すことができなくなります。「新成人おめでとう！キャンペーン実施中！！」のようなキャッチフレーズで、いろいろな会社が様々な契約を打ち出しています。たとえば「クレジットカード」について、新規でポイントが付く…となればどの会社のクレジットカードが一番お得かな？と考えます。でもそこで年会費がいくらかかるかを理解しているかどうか重要です。また、ゲームの課金も同様で、最初は無料であっても、より楽しむために途中で「課金」が必要になります。クレジットカード払いで「課金」の処理…これは借金をすることで、借金は必ず返さなくてはなりません。そうしたトラブルが続出しているということです。

高等部在学中に18歳になり、メリットもたくさんあると思いますが、いろいろな危険をはらんでいることを知っておく必要があります。どんな問題が起こりうるか、それをどうやって解決していくか、想定していくことが大切です。



あるグループホームに関わる支援者のお話です。家庭からグループホームに移行するとき、本人名義の預金通帳が必要になりました。でも18歳の誕生日を過ぎていたため、本人が銀行の窓口に出向き、自分の意思で通帳を作りたいことを伝え、署名することを求められたということです。障害の重い方で、自力ではできませんでした。そこで、支援員が代筆しようとする、それは不可でした。次に保護者同伴で銀行に行き口座開設を依頼したところ、これも不可。18歳になると親権が喪失し、たとえ親であっても単なる同行者扱いで、法的に手続きができなかったのです。最終的には、元担任や医師の意見書などを添えて、代理で受け付けていただけたそうですが、大変手間取ったというお話でした。（※すべての金融機関がこのような対応をするということではありません。）

高等部卒業後、障害基礎年金、給料、工賃など、様々なお金が本人名義の口座に振り込まれ、必要経費などが引き落とされていきます。すべての人に必要ではありませんが、このようなトラブルを回避するために「成年後見制度」があります。自身の大人としての生活をイメージする中で、お金の管理をどうしていくか、早めに考えていくことが必要だと思います。「成年後見制度」については法務省や厚生労働省のホームページなどで概要が説明されています。



## OTより

## 「生活リズムについて」

様々な学びと様々な成長を獲得できる素晴らしい場が学校です。それは学習ということだけにとどまりません。なかでも私が生徒に一番獲得してもらいたいことが生活リズムです。

社会人になるために当たり前で備えておくべき生活リズムですが、その獲得は学校に登校し、学習や運動などで、程よい疲れを得て睡眠によって回復することを繰り返すことで、備わっていくものです。ただこの生活リズムをしっかりしたものにするためには、今の社会は少々刺激に満ち溢れているのではないのでしょうか？片手一本、指先一つで簡単に楽しみを得られるスマホのゲームやYouTubeなどの出現から、どうしても睡眠時間を削りがちになってしまい、次の日の活動に影響、そして昼夜逆転という悪循環に陥りがちです。特に、夏休み等の長期の休みとなると尚更です。

人間の体にはリズムを覚えこみ、それに対応していこうという機能が備わっています。ただ、それを有効に働かせるためにはコツコツと生活リズムの安定を図っていくことが必須です。そして、コツコツと積み上げても生活リズムは簡単に崩れやすいと言えます。

さあ、2学期が始まります。皆さんはいかがでしょうか？もしかしたら、夏休みの間に崩れてしまった人も少なからずいるのではないのでしょうか？まずは決められた時間に就寝、そして起床することから始めましょう。それを繰り返し、少しずつ生活リズムの獲得を図っていきましょう。